



システム開発見積りガイド

1. システム開発見積りガイドの利用目的

- ①開発現場で経験と実績に基づいて実施されている見積りに対して世界的な共通尺度としてのファンクションポイント法（FP法）を併用することによって、見積り精度向上、見積り値の組織内での情報共有、他社との比較検討を可能とする。
- ②担当の見積り結果を第三者が評価できるようにすることで、見積り結果の補強や見積りに対する組織内の共通理解を促進する。

2. システム開発見積りガイドの内容

I. はじめに

1. 本ガイド作成の背景・経緯
2. 本ガイドの目的および作成方針
3. 本ガイドの対象範囲
4. 本ガイドにおけるシステム開発見積りの位置づけ
5. 本ガイドにおける見積り手法

II. 見積り精度向上施策

III. 見積り基本手順と留意事項

- III-1 見積り実施プロセスの概要
- III-2 見積りプロセスの留意事項

IV. システム開発見積り手法の基本事項

- IV-1 開発規模見積りの基本事項
- IV-2 開発工数見積りの基本事項
- IV-3 開発期間見積りの基本事項

V. システム開発見積りの実施方法 概算見積りの場合

1. 開発規模見積り
2. 開発工数見積り
3. 開発期間見積り

VI. システム開発見積りの実施方法 初期見積りの場合

VII. 案件タイプ別見積り方法(主として規模・工数見積り)

1. 手作り型新規開発案件
C/SS、Webアプリケーション、バッチ処理中心システム
2. 手作り型新規開発案件以外

VIII. 見積り結果の保存と実績データの蓄積

1. 見積り結果の保存と実績データの蓄積の重要性
2. 見積り結果の保存
3. 実績データの蓄積

付録

1. 見積書記載項目チェックリスト
2. 見積り手法の基礎(ファンクションポイント法とCOCOMO法)
 - 2-1 ファンクションポイント
(Function Point Method)法
 - 2-2 COCOMO および COCOMO II について
3. 見積り支援ツール(Excelシート)
 - 規模見積り(KLOC換算)
 - 開発工数算出
 - 開発工数・期間調整

3. システム開発見積りガイドの提供料金

さまざまなパターンがありますので営業にお尋ねください。